

菖蒲池古墳風致保全方針

1 地区の概況

明日香風致地区として保全されてきた地域である。遺跡・田園・集落に構成され、歴史的景観を形成している。明日香風致地区から連続した地域であり、その風致の連続性を損なうことの無いよう、自然景観への眺望保全、古代遺跡と周辺景観との調和、田園風景等の優れた風致景観の維持・保全に努める。

2 地区の風致特性

(1) 風致構成要素

自然保全＋歴史保全型

(2) ランドマーク

近景：田園、歴史遺産（古墳）

(3) 主な視点場

菖蒲池古墳 植山古墳 県道多武峯見瀬線

3 地区の維持・創出すべき風致の内容

(1) 保護すべき要素

菖蒲池古墳

(2) 維持・保全すべき要素

山間地の農地地形

(3) 育成すべき要素

明日香地域へと続く農地景観

4 ゾーンごとの建築物等の修景に関する方針

○ ゾーン2（維持・保全区域）

【概況】

- ・明日香村より広がる農地、樹木地を形成している。

【方針】

- ・原則として、現在の風致を極力維持する。
- ・建築物、工作物については、既存建築物の高さ、屋根形状、建築形態等を踏襲した、和風様式のものとする。

○ ゾーン3（維持・保全区域）

【概況】

- ・丘陵の麓の農地等で、遠景に明日香の山並みなどが見られる地域である。

【方針】

- ・建築物、工作物については、緑地や田園景観に調和するよう、高さ、屋根形状、色彩等を踏襲する。

○ ゾーン6（維持・保全区域）

【概況】

- ・菖蒲池古墳を含む地域である。
- ・一部新しく開発された住宅地を含んでいる。

【方針】

- ・古墳の区域については、現況保存を図る。
- ・建築物、工作物については、歴史的景観と調和する和風様式のものとする。

○ ゾーン9（維持・保全区域）

【概況】

- ・学校等の公共性の高い施設があるゾーンである。

- ・ 風致地区にふさわしい公共建築物として、歴史的景観に調和するものであることが課題である。

【方針】

- ・ 建築物、工作物については、周辺の緑地や集落に調和するよう和風様式を踏襲する。
- ・ 工作物についても、既存の形態を踏まえた和風の仕上げ、色彩等とする。
- ・ 建築物周辺の敷地が大きく、まちなみへの視覚的影響も大きいため、敷地外周には、中高木を配置する。